



岸田劉生「麗子」1916年



岸田劉生「少女像」1916年



娘 Reiko Jan 1928. Riusei.

同時開催
大正・昭和初期の
小樽の画家たち
画家と娘・画家と家族



岸田劉生「花をさす娘」1936年

画家と

岸田劉生

<麗子>とともに

2022年
7月16日|土|~9月19日|月祝|

市立小樽美術館 1F 中村善策記念ホール
otaru city museum of art 2F 企画展示室



岸田劉生「麗子」1929年

- 開館時間 9:30~17:00 (最終入館は16:30まで) ■ 休館日 月曜日(7/18・9/19を除く)、7/19(火)・20(水)、8/12(金)
- 観覧料 一般 900(720)円/高校生・市内高齢者 450(360)円/中学生以下無料
- ※3階「一原有徳記念ホール」とあわせてご覧いただけます。 ※()内は20名以上の団体料金

主催:市立小樽美術館 協賛:市立小樽美術館協会 協力:公益財団法人 笠間日動美術館
助成:公益財団法人 朝日新聞文化財団/公益財団法人 花王芸術・科学財団/公益財団法人 野村財団
後援:北海道新聞小樽支社/小樽商工会議所/一般社団法人小樽観光協会/株式会社北海道画廊/なの花薬局

公益財団法人 朝日新聞文化財団
公益財団法人 花王芸術・科学財団
NOMURA 野村財団



岸田劉生「麗子」1928年



岸田劉生「白面像」1913年

大正から昭和初期にかけて、自由で開放的な時代の空気を背景に、日本の洋画界は海外から移入した新思潮の影響で多様な前衛的表現が生まれていました。

しかし、この時代に、新しい潮流とはむしろ逆行するように特異な作品を生み出したのが、岸田劉生（1891-1929）でした。劉生は17歳で黒田清輝に学んだ後、「白樺」同人との交流でゴッホやセザンヌの作品を知り、さらに美術史を遡ってデューラーなど北方ルネサンスの影響を受け、緻密な描写で神秘性を帯びた表現に至りました。娘・麗子が生まれてからは、数多くの麗子像を描き、鶴沼時代には、風景、静物、麗子、村娘お松など対象の存在を深く見つめる「内なる美」の探求へと進み、劉生芸術は一つの頂点に達しました。さらに、関東大震災後、京都に移住し、宋元画や南画、浮世絵に没頭し、東洋的感覚を自らの作品に反映させようと試み、38歳という短い生涯を閉じています。

一方、北海道では1916(大正5)年、札幌で開かれた第9回黒百合会展で、有島武郎が持参した岸田劉生作品に高い関心が寄せられ、三岸好太郎は多大な影響を受けました。1922(大正11)年劉生は、院展同人との交遊から、春陽会の創立に加わり新たな活動の場とします。そこには、小樽ゆかりの長谷川昇、山崎省三が創立に加わり、三浦鮮治・兼平英示兄弟が後に続きました。東洋画の手法や発想に立つ画風を有する春陽会においても、劉生は大きな位置を占めたことから、周囲に与えた影響ははかり知れず、小樽ゆかりの画家たちの、写実を基礎としながら、どこか東洋的な文人趣味の作風に、相通ずるものを感じます。

本展は、近代日本美術において最も高く評価される画家の一人、岸田劉生の「麗子十六歳之像」「村娘之図」など代表作に加え、麗子の姿が随所にちりばめられた装幀をはじめ、油彩、水彩、墨画、素描、版画作品等に関連資料などを含めた約50点により、劉生芸術をご紹介します。同時に、春陽会の草創期に関わりそれぞれの個性を開花させた、大正から昭和初期の小樽ゆかりの画家たちの作品を通じて、近代洋画の魅力にふれていただくものです。



山崎省三「スペインのコスチューム」1930年



長谷川昇「幼児像」1915年頃



岸田劉生「丸山君之像」1921年



岸田劉生「『白樺』十周年記念号表紙」1919年



岸田劉生「手」1916年
小樽芸術村蔵

■ 関連事業 ■ アートレクチャー ■ * 観覧券が必要です

- 第1回「画家とモデル、画家と娘」
7月16日(土) 14:00~14:30 特別展示室内 山田菜月(市立小樽美術館学芸員)
- 第2回「かき残されたもの—岸田劉生の日記より」
8月7日(日) 14:00~14:30 特別展示室内 金澤聡美(公益財団法人似鳥文化財団小樽芸術村学芸員)
- 第3回「岸田劉生と白樺派—装幀画をめぐる」
8月20日(土) 14:00~15:00 研修室・特別展示室内 亀井志乃(市立小樽文学館長)
- 第4回「大正昭和初期の小樽画壇」
9月3日(土) 14:00~14:30 特別展示室内 星田七重(市立小樽美術館主幹)

連携事業・観覧料相互割引

似鳥美術館にて
岸田劉生作品展示中!

2022年7月16日(土)~9月19日(月・祝)

開館時間: 9:30~17:00(最終入館 16:30まで)

会場: 似鳥美術館3階(小樽市内1-3-1 小樽芸術村)

料金: 一般1500円、学生1000円、高校生700円、小中学生300円



岸田劉生「静物(リーチの茶碗と菓物)」1921年
小樽芸術村蔵

市立小樽美術館
「岸田劉生<麗子>とともに」展の
チケットご提示で2割引

小樽芸術村

〒047-0031 小樽市色内1-3-1

(似鳥美術館)

tel.0134-31-1033 fax.0134-31-1035

市立小樽美術館
otaru city museum of art

〒047-0031 小樽市色内1-9-5

Tel:0134-34-0035 Fax:0134-32-2388

JR函館本線		小樽駅
●小樽経済センター		
●商業会館	長崎屋	●サンビルスクエア
●郵便局		
●オーセントホテル小樽		
●市立小樽美術館		
●郵便局本局		
●小樽芸術村		
●小樽運河		
金融資料館(旧日本銀行)		旧手宮線

アートレクチャー

岸田劉生《丹童麗子像(一部)》年代不詳



①画家とモデル、画家と娘

7月16日(土) 14時～

[講師] 山田菜月(当館学芸員)

[会場] 2階企画展示室



②かき残されたもの —岸田劉生の日記より

8月7日(日) 14時～

[講師] 金澤聡美(小樽芸術村学芸員)

[会場] 2階企画展示室



③岸田劉生と白樺派 —装幀画をめぐる

8月20日(土) 14時～

[講師] 亀井志乃(市立小樽文学館館長)

[会場] 1階研修室、2階企画展示室



④大正初期の小樽画壇

9月3日(土) 14時～

[講師] 星田七重(当館主幹学芸員)

[会場] 2階企画展示室

※ご案内※

アートレクチャーへの参加は無料ですが、展覧会観覧料がかかります。
内容が急遽変更になる場合がございます。詳しくはお出かけの前に市立小樽美術館HP
をご確認いただくか、市立小樽美術館までお問い合わせください。



画家と娘 7月16日(土)～9月19日(月・祝)

岸田劉生〈麗子〉とともに

市立小樽美術館 〒047-0031 小樽市色内1-9-5(JR小樽駅より徒歩10分) Tel 0134-34-0035

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(7月18日、9月19日を除く)、7月19日-20日、8月12日

観覧料 一般 900円 高校生/市内高齢者 450円 中学生以下無料

[助成] 公益財団法人 朝日新聞文化財団 公益財団法人 花王 芸術・科学財団 NOMURA 野村財団

	JR函館本線	小樽駅
	●小樽駅前センター	
●商業街	長崎町	●サンビルスクエア
	●オーセントホテル小樽	
		●旧手宮線
●金融資料館(旧日本銀行)	●市立小樽美術館	
	●郵便局本局	
	●エトリ美術館	
		小樽運河

市立小樽美術館
otaru city museum of art

前売り券 限定特典

前売り券に記載されたナンバーから当選者を決定し、景品をプレゼントします!

1等 市立小樽美術館協力会員証(年間パスポート) 3名様

2等 岸田劉生関連図録 3名様 3等 次回展示前売り券(1枚) 10名様

[前売り料金] 一般 900円 高校生/市内高齢者 450円 中学生以下無料 [発売場所] 市立小樽美術館、北海道画廊、宮井額縁店、石井ガクブチ店、他
当選番号は7月16日から市立小樽美術館協力会HPと美術館内に掲示します。 [引換期間] 7月16日～9月19日 [引換場所] 市立小樽美術館2階企画展示室

